

インテリアの教科書。

Interior Handbook vol.4

TIPS for making your home more cozy.
Interior coordination methods recommended by niko and ...



LAYOUT IDEAS

リビングやダイニングは、空間の大きさや形によってテーブルや椅子の選び方や、レイアウトの仕方は変わってきます。暮らしの人が心地よく過ごせるレイアウトの作り方を2つのシリーズからご紹介します。

#1 OAK SERIES

ナチュラルな質感が人気の「OAK SERIES」のアイテムを使って、広さの異なるふたつの空間を例にインテリアのポイントをお伝えします。



12帖

OPEN BOARD 80 ¥99,000+TAX No.878824 Col.Brown / GLASS CABINET 90 ¥84,000+TAX No.878825 Col.Brown / DINING TABLE 130 ¥55,000+TAX No.814473 Col.Brown BENCH ¥28,000+TAX No.814475 Col.Brown / IRON PINE CHAIR ¥12,000+TAX No.426690 Col.Black / 2P SOFA ¥46,112+TAX No.751866 Col.Dark Brown WALL SHELF ¥28,000+TAX No.782780 Col.Brown

余白を残すことを意識すれば、コンパクトな空間も広々、すっきり。

10～12畳ほどのコンパクトなリビングダイニングは、モノを多く置くと部屋はごちゃつき、狭く見えてしまいます。では、もっと広く見せるためにはどんな工夫をすればいいでしょう？ おすすめは“余白”を残すこと。ダイニングテーブルを置くときは壁にびたりとくっつけるのではなく、少し離して隙間をついたり、壁の白場も絵や写真をたくさん飾るのではなく、ある程度のスペースを残して白のシンプルさを生かしたり。色もたくさん使うのではなく、ふたつのベースカラーとひとつの差し色の3色を配分することで、おしゃれにまとまります。写真のインテリアは、ダイニングテーブルやキッチンキャビネットのオーク色をベースに、もう1色は木目と相性のいいアースカラーを、そして差し色にはブルーをセレクト。差し色には膨張色ではなく、ブルー系などクールな印象の色を選ぶとスッキリ感もアップします。

テーブルのリニューアルに引き続き、今回はキャビネット4種の新作が誕生。脚付きで高さもアップしたり、細部に曲線を加えることで、柔らかな雰囲気の新作テーブルに合うデザインに。型板ガラスを使用したガラスキャビネットもレトロでおしゃれ。



16帖

KITCHEN BOARD 120 ¥168,000+TAX No.878823 Col.Brown / KITCHEN COUNTER 120 ¥89,000+TAX No.878826 Col.Brown / DINING TABLE 150 ¥60,000+TAX No.814472 Col.Brown BENCH ¥28,000+TAX No.814475 Col.Brown / OAK PW CHAIR ¥15,000+TAX No.814414 Col.Brown / CAGE SLIM WAGON ¥7,800+TAX No.878834 Col.Black LOW SOFA ¥49,000+TAX No.814413 Col.Green / NEST TABLE ¥18,858+TAX No.707795 Col.Brown / BEADS CUSHION ¥12,000+TAX No.782779 Col.Beige / SHELF ¥28,381 No.707786 Col.Brown RUG 130x190 ¥16,800+TAX No.843751 Col.Charcoal

広々としたリビングをセンスよく見せる家具のセレクトや雑貨の飾り方。

16～18畳などスペースに余裕のあるリビングダイニングは理想的ですが、広いだけに余白が多すぎて間延びした印象にならないよう気をつけたいところ。部屋の広さに合う大きめの家具を選ぶのはもちろん、グリーンも大きくて葉が丸いもの、枝ぶりが太いものを置くと、空間のバランスが取れて洗練されて見えます。もしもリビングからキッチンが見えるような間取りなら、統一感を考えて、写真のようにキッチンとリビングに同じシリーズのキャビネットを置くのもおすすめ。ほかにも壁の余白が多すぎないよう、飾る雑貨に高低差をつけて立体感を出すなど、全体のバランスを見ながら置いていきましょう。雑貨の置き方で迷ったときは引いた目で見るのが大事。悩んだら部屋の入り口に立って見て。「あの辺がぼっかり空いてる」「あのスペースはごちゃっとしてる」など入り口から見た印象は、帰宅して部屋に入ったときの気持ちよさに直結しています。



左/新作のキッチンボードの大きいタイプは、上部に型板ガラスを使用。下の段の見せる収納と分けられるのもポイント。幅は旧作より15cm広くなり120cmに。右上/狭い空きスペースに置けるワゴンも新登場。右下/リビングにも合うキッチンカウンター。

#2 CLASSIC DINER SERIES

アメリカのダイナーをイメージした「CLASSIC DINER SERIES」。新作のベンチが加わり組み合わせはより自在に。ライフスタイルに添ったインテリアが実現します。



KITCHEN BOARD 120 ¥168,000+TAX No.878823 Col.Brown / KITCHEN COUNTER 120 ¥89,000+TAX No.878826 Col.Brown / BENCH SOFA ¥49,300+TAX No.707610 Col.Green
SOFA COUCH R ¥58,900+TAX No.707608 Col.Green / BENCH ¥30,000+TAX No.878753 Col.Green / LD TABLE II ¥59,800+TAX No.878755 Col.Beige

色は？ 素材は？ 椅子の形は？ 選ぶ楽しみが広がった人気シリーズ。

アーバンテイストとヴィンテージテイストをほどよくミックスさせた、人気の「CLASSIC DINER SERIES」。ダイニングテーブル2種とベンチチェアが新作として加まりました！ 新作のテーブルは、天然木の棚板をスチールにリニューアル。インダストリアルな空気感と都会的な無骨さが増し、すっきりとした佇まいに。このテーブルのみ幅は従来より10cmも広くなり、ゆったりとした使い心地の良さも追及しました。一方、同じデザインで、天板も脚も棚板もすべて木材で仕上げた柔らかな印象のテーブルも新作として登場。同じソファを置いてもテーブルの素材によって、まったく違う雰囲気の間をつくることができます。また、今までのL字に並べられる定番ソファ2種に加え、新しくベンチもシリーズに追加。ソファの色を全11色から選べることで好評だった当シリーズに3つの新作が加わり、組み合わせ方の自由度はさらにアップ。暮らしにぴったりのセットをつくることができます。



定番の脚部分がスチールタイプのテーブルも継続して発売中。加えて、棚板をスチールで仕上げたもの、すべてを木でつくったもの全3種を用意。ダイニングテーブルは、ソファに座ったときにちょうどいい高さになるように設計。
LD TABLE WOOD ¥59,800+TAX No.878771 Col.Brown

SPECIAL COLUMN

生活スタイルに合う空間のつくり方。

「CLASSIC DINER SERIES」のソファ全3種を使って、定番のLAスタイルや居心地のいい対面スタイルなど、少人数から人が集うファミリーまで、さまざまな暮らしのスタイルに合わせたレイアウトパターンをご紹介します。



#1

スモールスペースでも大勢集まれるフルセット！

ダイニングとして食事でもでき、リビングのようにリラックスするスペースもつくることのできるソファダイニングは、日本の住空間を有効に使えると今話題です。「CLASSIC DINER SERIES」の定番、L字に並べられる2つのソファに新作のベンチを加えたフルセットなら、大人が5人も座ることができます。コンパクトなリビングダイニングだからとホームパーティを諦めていた人にもぜひ注目してもらいたいアイテム。誕生日やイベントの日に友人ファミリーを招いたり、テーブルを囲んで大勢でワイワイと楽しめるスペースをつくることができます。



#2

キッチンとの行き来もラクな定番のL字ソファスタイル。

L字に並べたふたつのソファとダイニングテーブルの定番セットは、小さなお子さんがあるファミリーで寛ぐにもぴったり。このセットは、手前のスペースが大きく空くのも大きな魅力。座っている場所からさっと調味料を取りに行ったり、デザートを用意したりとキッチンへの移動がしやすいです。また、ダイナーを思わせるレトロな雰囲気のある「CLASSIC DINER SERIES」は、同じテイストの雑貨をキッチンに置くと遊び心たっぷりのインテリアに。キッチンとダイニングの統一感が増して、楽しく、おしゃれな空間が完成します。



#3

コンパクトな暮らしにもちょうどいい、居心地のいい対面セット。

小さな空間にもマッチする新作のベンチを使った対面セット。温かみのある色使いのラグを敷いたり、棚板にはお気に入りの雑誌を収納したり、まるでお気に入りの行きつけカフェのような、いつまでもくつろいでいたい、居心地のいい空間をつくることができます。レイアウトのポイントは、背もたれのあるソファをキッチン側に配置すること。ソファの背部分が、キッチン空間とリビングダイニング空間を仕切るゾーニングの役割を果たしてくれます。コンパクトな空間でもふたつのスペースを感じられるインテリアのちょっとしたコツ、試してみてください。



FIT YOUR STYLE

ほっとひと息ついたり、のんびり映画を見たり、ソファで寛ぐひとときは至福の時間。
ここではタイプの違う4つのソファに合わせたコーディネート空間をご紹介します。



2P SOFA

すっきりとしたデザインが
男性のひとり暮らしにも最適。

細身のスチール脚や肘掛などすっきりとしたデザインが空間に抜け感を生み、ひとり暮らしのコンパクトな部屋にも圧迫感なく置くことができる「LIVING TERRITORY SERIES」の2Pソファ。ソファに使われている「木目×スチール」の素材をテーブルやシェルフなどほかの家具でも使うと、全体がすっきりとまとまり、インダストリアルでかっこいい雰囲気。男性のひとり暮らしのインテリアにもおすすめのコーディネートが完成します。ただし、シンプルさも行きすぎると寂しげな印象になってしまうので、要注意。ラグはインパクトのある柄を選ぶなど、アクセントをつけて目を引くアイテムを置くのもポイントです。

2P SOFA ¥46,112+TAX No.751866 Col.Dark Brown
ADJUSTABLE TABLE ¥18,334+TAX No.707782 Col.Brown
WALL SHELF ¥28,000+TAX No.782780+TAX Col.Brown
RUG 140×200 ¥14,000+TAX No.854573 Col.Navy



SOFA BED

機能の充実っぷりは随一！
ナチュラル空間に合うソファ。

どんな空間にも馴染む、ナチュラルテイストのバイカラーが特徴の「STORAGE SOFA BED」。背面を倒してベッドとしても使えるので、家具を増やしたくないひとり暮らしの人にも最適。また、通常のふたり掛けに比べてゆったりと座れる設計なので、パートナーとのふたり暮らしにもおすすめ。円筒状のボルスタークッションは、アームレストとしても、座ったときの腰当てとしても、さらには寝るときの枕としても使える優れもの。ほかにも座面下の収納などひとつで何役も果たす機能面の充実も魅力です。ソファのナチュラルテイストに合わせて、ラグは淡い優しい色と組み合わせれば、リラックス感あふれるコーディネートに。

3P SOFA BED ¥55,000+TAX No.764284 Col.Brown
CENTER TABLE ¥35,000+TAX No.814474 Col.Brown
MAGAZINE RACK ¥6,000+TAX No.799264 Col.Brown
RUG ¥14,000+TAX No.858261 Col.Blue

3P SOFA

飽きずに長く愛用できる
クラシカルで上質なソファ。

ブラウンをベースに大人っぽく仕上げた空間の中心にあるのは、「パイン無垢材」×「水道管モチーフのスチール材」の組み合わせが絶妙な「CRAFTSMAN SERIES」の3Pソファ。ブラウン×黒の色合わせは、時間が経っても飽きずに暮らせる上質感のあるコーディネートです。同じシリーズのローテーブルと組み合わせれば統一感も抜群。全体が重たくなりすぎないように、ラグは白を入れて抜け感をつくるのもポイントです。ゆったりとしたソファなので広めのリビングに合うのはもちろん、たとえば大きなワンルームのひとり暮らしにも、写真のようにパーティションで区切って、奥にベッドを置くレイアウトでおしゃれな空間に。

3P SOFA ¥69,000+TAX No.827397 Col.Brown
LIVING TABLE ¥24,000+TAX No.744305 Col.Brown
SIDE TABLE ¥11,000+TAX No.211171 Col.Brown
RUG 140×200 ¥14,000+TAX No.854573 Col.Yellow



LOW SOFA

ひとり掛け用にセバレートも可、
アレンジの効く大きなソファ。

奥行きをたっぷり取った「GLUCK」のソファ。体ごと包まれるような安心感やリラックス感は格別ですが、これだけゆったりとしているのに、脚のないローソファのため圧迫感がないのもうれしいところ。ソファは面積が広い分、部屋の印象を大きく左右しますが、コーデュロイの質感は部屋全体を優しい雰囲気にしてくれます。その分、ラグは個性的なものをセレクトするとメリハリのあるコーディネートに。モノトーンのものや伝統的なエスニック柄などアクセントになるものを選んで空間を引き締めるのがポイント。大きなソファを中心にファミリーが毎日集う、そんなリビングにぴったりのアイテムです。

LOW SOFA ¥49,000+TAX No.814413 Col.Green
NEST TABLE ¥18,858+TAX No.707795 Col.Brown
RUG 130×190 ¥16,800+TAX No.843751 Col.Charcoal

ソファは離すことができるので、サイドテーブルを挟んでまるでシアタールームのように配置するのも気分が上がりそう。テーブルがない分スペースが空くので、床座りもできて大勢で集まる日にもおすすめのレイアウトです。



DECORATING TIPS

インテリアのセンスは、雑貨の配置や差し色の使い方など細部へのこだわりで宿るもの。
すぐに実践できる簡単なコツを公開します。



高さにメリハリをつける。

リビングのように広い空間は、余白が多くなり部屋全体がのっぺりとしてしまいがち。棚や壁に飾るアイテムの置き方にもひと工夫が必要です。簡単な方法としては、高さにメリハリをつけること。写真のように、棚の上に本があって、さらに高さのあるオールのオブジェが並び、横には低めの地球儀やステレオ、少し背の高い照明など、高低差を意識して置くと、空間に動きが出て立体的に見えます。見せたいモノをただ並べるのではなく、高さのバランスを取って並べると、部屋のおしゃれ度は格段にアップします。



鉢をレイヤードする。

爽やかさや清涼感を感じさせるアイテムとして欠かせない「グリーン」。空いたスペースに観葉植物をぼんと置くだけでも素敵ですが、「鉢のレイヤード」をすれば遊び心も演出できます。やり方はいたって簡単。鉢の外側にもうひとつ容器物を重ねるだけ。ウッド調のボックスやキッチン用の鍋、バケツやマグカップなど重ねるものは何でもOK。外側の容器物を選ぶポイントは鉢よりも背の低いものや透け感のあるものをセレクトすること。中の鉢の色を見せてレイヤード感を出しましょう。



アクセントとなる色を統一する。

部屋のインテリアは配色によって印象もまったく違うものに見えます。統一感のある部屋にするにはおおよそ3色を上手に使うことが大事。まずはベースとなる2色を決め家具を選んだら、最後にアクセントとなる1色を選び雑貨などに使いましょう。差し色は、大きな家具を使わず小物で効かせられるのも手軽な点。差し色を変えて部屋のイメージチェンジをするなど日々のインテリアを楽しむにも最適なのです。広めのリビングなど大きな空間で効果的に差し色を効かせるなら、ブランケットやクッションのような「面」が大きいものを置くのがおすすめ！

INFOMATION

niko and ...

インテリアの教科書

「インテリアの教科書」の連載コンテンツをご用意。すぐに実践できるインテリアのテクニックをたくさんご紹介しているので、ぜひチェックしてみてください。

「インテリアの教科書」
<https://www.nikoand.jp/topics/cat/interior/>

教科書で勉強して インテリアマスターに！

〈niko and ...〉の公式サイトでは、「インテリアの教科書」の連載コンテンツをご用意。すぐに実践できるインテリアのテクニックをたくさんご紹介しているので、ぜひチェックしてみてください。

「インテリアの教科書」

<https://www.nikoand.jp/topics/cat/interior/>

ONLINE CONTENT



オンラインストアでも オーダーができます。

近くにお店がなく商品が見れない！という方はぜひWEBカタログをチェックしてみてください。さらに、気になる〈niko and ... FURNITURE&SUPPLY〉の家具は、オンラインストアでもオーダーできます。

niko and ... 「.st」

<https://www.dot-st.com/nikoand/>

ONLINE STORE



ONLINE CATALOG

